

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人
小羊学園

住所 〒433-8105
静岡県浜松市中央区三方原町2709-12

電話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

HP <http://www.kohitsuji.or.jp/>

発行人 稲松義人

印刷所 アド・アール株式会社



つ の ぶ え

TSUNOBUE

2025年1月1日

第455号

今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

【特集】

意思決定支援を考える

4 P-5 P...

ふれあい運動会

障がいのある人にやさしい外出スポット

6 P...

イベント報告

リレートーク

支える会報告 他



小羊学園ふれあい運動会

ずっと関係性が続く魅惑的倶楽部（エキゾチッククラブ）のみなさんと

「意思決定支援」は、障がい者支援のなかでは、重要なテーマとなっています。一人ひとりの主体性を尊重することが大切であることに異論はありませんが、小羊学園が当初から向き合ってきた方たちは、本人の意思を理解することの難しい人たちがほとんどでした。言葉もなく、こちらからの問いかけに反応することにもハンディのある人たちを前に、ご本人の意思の尊重と言われても戸惑うこととなります。制度としては、親権者・ご家族や成年後見人に書面上、同意をもらうことはできて、それがご本人の意思であるかどうかは別です。また、言葉で返事をしてくれる方の中にも、その意思表示に責任をもってもらえるかという心もとない人たちが多いのです。

創立者山浦俊治が示した理念によると、その方と日常的に受容的な関係をもつことで気づく実践が求められているのだと思います。

人間は一人ひとりに尊厳があるのですが、私たちの存在は、決してバラバラに存在するのではなく、関係性の中に生かされているのではないのでしょうか。その関係性を回復するところに、社会福祉の真の役割があると思っています。

稲松義人

利用者の意思決定支援を考える

「だれもが『私の人生の主人公は、私』」

日中活動支援部門研修を通して

小羊学園研修研究委員会・日中活動支援部門は10月5日に「意思決定支援」をテーマとした研修を行いました。講師には、聖隷クリストファー大学川向雅弘先生をお招きして、障がい福祉の変遷や意思決定支援の制度設計のプロセス、意思決定支援の考え方について、お話をいただきました。今号の特集では、研修に参加した職員が、意思決定支援プロセスについてどんな学びをしたのか報告いたします。



講義を聴講

【意思決定支援とは？】

意思決定支援とは、利用者自身から納得して意思を決定できるよ

小羊学園では、1年を通して「利用者理解」について学びを深め、その集大成として研究発表という形で報告する機会を設けています。今回、その研究発表に向けて学びを深める為、以前にも日中活動支援部門研修にてご協力を頂きました聖隷クリストファー大学川向先生に、今回も講義の依頼をする運びとなりました。先生のご協力もあり、社会福祉法人菊水光明会の光明学園と合同で、浜松地区日中活動部門の支援員、静岡地区の支援員とオンラインを活用しながら合同研修を開催することができました。意思決定支援とは？またその前提として利用者理解を深める為には何が重要となるか、を学ぶことができましたので報告いたします。

うに支援することを言います。普段何気なく行っている気持ちの表出や訴えも、私たちが支援する利用者は、困難となるケースが多くあります。その利用者が意思を決定する場面では、積み重ねられた事業所での姿を参考にさせていただきながら、本人が好むであろうことを推察して決定の支援をしています。ただ私たち支援者は、利用者一人ひとりが歩んできた人生の中で、日中活動というほんの一部の姿しか知り得る事ができていません。幼少期・学齢期・現在と、家庭の中や地域の中で、家族や隣人と過ごした時間や暮らしている姿の理解はとても少ないものとなります。そういった利用者の暮らしを知る事で、真の意思ではないかもしれませんが、心から納得できる意思決定に近づくことができると学ばせて頂きました。



出典：川向先生講義資料

利用者に寄り添った支援、最善の利益を意識した支援と、今まで耳にする機会は多くありました。しかし、限られた情報や手法の中で代理決定をしていたことは、本当に利用者の意思に近づけることができていたか、不安がよぎることが多くあります。今すぐに、利用者を理解する引き出しがひとつでも多く増やせるよう、最大の理解者である保護者の皆様や利用者本人と、たくさんお話しできたらと思います。

また、今回合同研修という形で共に学んだ、光明学園で活躍されている丸山さんには、川向先生の講義にあった「利用者を知る」為に、「家庭訪問」という形で意思決定支援の前提であるアセスメントを行い、その実践報告をして頂きました。午後のグループワークでは、講義と実践報告を元に、意思決定支援について更に学びを深めることができました。

オリーブの樹 酒井



川向雅弘先生

【グループワークでの視点①】

家庭訪問の際、利用者のことをより深く知る為には、どのような質問が考えられるのか?というテーマでのグループワークでしたが、深く知ることのみに焦点を当てていくと、自ずと質問内容が深いプライベート的なものに近づいていきました。そのような質問は、お互いの信頼関係によつては回答することに抵抗感を抱く部分もあるので、私のグループでは、どのように信頼関係を構築していくのかという視点での話し合いがされました。

通所施設と入所施設で比較した時、入所施設の職員はご家族と対面する機会が少なく、信頼関係が築きにくいことも多くあります。そのため、いきなり質問から入るのではなく、例えば施設での生活の様子や、外出などで楽しんでいた場面の共有といったように、導入の段階でこちらからの開示が重要になってくるという意見が挙げられました。職員に置かれる立場によつて、家庭訪問に対するプロセスの違いがあることも考えさせられました。

三方原スクエア 米岡

【グループワークでの視点②】

利用者の「意志決定支援」を実践していく中で大変重要になってくるのが「利用者理解」であり、もつと利用者を知ることです。その中でどうすれば利用者を知ることが出来るのだろうか?ということとをグループワークで話し合いました。利用者本人のことを知る(理解する)うえで、家族のことや家庭環境、生育歴などをより知ることが重要であるという意見が多く出されました。ではその為にはどうすれば良いのかを考え、家庭訪問も手段の一つではありますが、漠然と訪問しても利用者理解には繋がりません。日々見ている利用者の様子と結び付けられる情報を得ることで、もつと利用者の希望や願望、趣味や嗜好を理解してあげられることが出来るのではないかという話になりました。

家庭訪問の実践については、保護者との信頼関係も必要であり、直ぐにすべてのご家庭にお願ひ出来ることではないと考えています。しかしながら支援者とご家庭が、同じ方向を向いて支援出来れば、「利用者理解」が進み自ずと「意思決定支援」に結びついてくると考えました。

オリーブの樹 小泉

【参加者の声】

川向先生の講義で、自己決定も意思決定も他者との関係性の中で行う「共決定」であるとすれば、私たち支援者は、「支援」を超えて「共決定を支える重要な他者」になれるかが大事、という内容に印象強く感じている方が多く次のような意見が挙がりました。

・ 支援者が利用者や保護者にとって重要な他者になるために「深く知る」そのための努力・姿勢・工夫が大切だと思った。

・ 他者との関係性の中で行う共決定が利用者の本質を知ることのできる道となることを感じた。

・ 共決定という考え方を取り入れた時「意思決定支援」のこれからのどう考え、どう取り組んでいくべきか考える機会となった。

・ 利用者の自己決定について、私たちは様々な場面で利用者の決定を支援することがあったが、本人をしっかり知らなければいけないという前提を真剣に考える機会となった。

※「共決定」とは、重要なことを決めるとき、1個人だけで決めることは少なく家族や親のことも考えながら決めている、共に(ともに)の決定。

もう一つは、重度の知的障がい者の「親なき後」には、新たな支援の展開が必要となるなど、スムーズに支援がつながり利用者が安心して暮らせるよう、支援者側がその方の理解の引き出しをたくさん用意しておくこと、また、「親なき後」に誰が「その方のこと」を伝え継ぐのか、利用者にかかわってきた機関・支援者にその責任があるのではないかと、という内容に対しても多く意見が挙がりました。

・ 支援者がどのような姿勢で利用者やご家族に寄り添うべきか改めて考えることができた。

・ 家族の思いを知り、親なき後その利用者のことを伝えられるような支援者になれたらいいと思った。

・ 利用者の今の様子だけを見て支援するのではなく、見えていない部分や過去、家族との関係性と様々なことを知り、支援に繋げていくことが大切だと思っ



第13回 小羊学園ふれあい運動会

「走った！つないだ！笑った！」秋の一日になりました😊

大会実行委員長

小羊デイケアホーム 野又 朗

秋も深まり始めた11月8日、浜北グリーンアリーナにて、「第13回小羊学園ふれあい運動会」が行われました。

小羊学園の各事業所の皆さんが一堂に会し、パン食い競争や、玉入れ、大玉転がしなどで職員、利用者、保護者の方等入り交じり、思いっきり体を動かし、楽しめました。また、お昼には恒例「魅惑的倶楽部（エキゾチッククラブ）」の皆さんによる、歌と踊りのアトラクションもあり、会場は大盛り上がりとなりました。

皆さんが集まって、一緒に体を動かしたり、地域の方と盛り上がったることができる「ふれあい運動会」は、小羊学園の仲間たちや、地域の方など、いろんな人たちのつながりを感じられる、貴重な時間であったと思いますが、次回は6月開催となりますが、今から皆さんの素敵な姿を見られることが、とても楽しみです。

ふれあい運動会 思い出のアルバム



選手宣誓頑張りました



各施設の応援旗を持って入場！



みんなで準備体操



徒競走、みんな一生懸命走ったね



各施設でおそろいのTシャツ🍀かっこいい





チーム風の丘 優勝おめでとう!



ステキなダンス&ミュージックありがとう



好きなパンが取れて嬉しい♥



運営ボランティアのみなさんに感謝♥

徒競走、みんな一生懸命走ったね



ボールコントロールもお手の物

小羊学園のお勧め!

障がいのある人にやさしい外出スポット

しみず ふなこし づつみ こうえん

清水船越堤公園

今回のご紹介は、静岡市清水区にある船越堤公園です!

日本平の北東側麓に位置する桜の名所として知られています。

公園内には、大きな池や小川、青々と生い茂る木々など自然豊かな空間が広がります♪晴れた日には富士山、春には美しい桜と富士山という日本を象徴する景色が圧巻です

【概要紹介】

【住所】 静岡県静岡市清水区船越497

【電話】 054-354-1170

【駐車場】 有



KOHITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.35

にしむら かずや
西村 和也 さん

2006年入職
つばさ静岡 職種 生活支援員
Q小羊学園を志した動機は？



聖隷クリストファー大学に
社会人入学した時、GHで
アルバイトをしたのがきっ
かけでした。(旧あゆみホー
ム)

Qこの仕事の嬉しいことは？

利用者さんと一緒に活動し過ごす中でなかなか
見せない表情や反応が見られた時です。後は
ショートステイの方の食事介助が上手いきき、
送り出し時に親御さんに喜ばれたときなど。

Qちょっとプライベートを教えてください！

低山がメインですが体力作りも兼ねてハイキン
グに行っています。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

スクエアの中村圭佑さんにバトンをつなぎま
す。児童部の子供たちの話、また聞かせてくだ
さい。

わかぎマルシェ

10月26日(土)に地域交流イベント「わか
ぎマルシェ」を開催！アトラクションでは
「TERAKOYA」さんのダンスショー、浜名中学
校吹奏楽部の演奏で盛り上がり、お目当てのグ
ルメでは「麺屋アモーレ」さんの激うまラーメン、
「ニコレモン」さんのドリンク、「魚国総本社」
さんのカレー、その他、たこ焼き・わたがし・パン・
ケーキなどに舌鼓♡ 心もお腹も満たされた楽
しい1日になりました!(^^)!



三方原スクエアスイーツフェス

11月16日(土)5年ぶりに保護者、地域
の方々を交えた三方原スクエア秋まつり(ス
イーツフェス)を盛大に行いました。6台の
スイーツを主としたキッチンカーやネイル
アートやパン、クッキー等の模擬店、「浜松協
働学舎音楽隊ばったん」によるバンド演奏や
「浜松修学舎高校郷土芸能部」による和太鼓演
奏が秋まつりを盛り上げてくれました。参加
してくれた利用者の笑顔が忘れられません。



小羊学園を支える会&遠州教会 合同企画

「山浦俊治から継承すべきこと」

小羊学園創設者山浦俊治先生が召
天して30年が経ちます。生前の山浦
先生を知る人たちがも少なくなつた今、
当時の山浦先生の小羊学園への思い、
信仰生活などを交わり深かつた元職
員・教会員にお話しいただき、山浦
先生の思いを継承する会を設けまし
た。ぜひご参加ください。

日時..
2025年2月24日(月)10時~12時
ところ..
遠州教会 集会室
浜松市中央区紺屋町301の15

*問合せ..法人本部 古橋・鈴木

☎053-584-3337

あ と が き

11月に行われた小羊学園ふれあい運
動会。年に1回、各事業所の利用者
と会うことができ、私はふれあい運動会
が好きな行事になりました。普段関
わっている利用者でも運動会となると
また違った一面を見ることが出来る
為、毎年新しい発見があります。日々
の成長と共に行事の中でも見つけられ
る発見があり嬉しくなります。
来年度は、2025年6月20日(金)
に実施されます。蒸し暑い時期になり
ますが、皆さまに元気にお会い出来る
ことを今から楽しみにしています。

(M)

小羊学園を支える会

2024年度 寄付金報告

10月~11月分 2,496,362円(86件)
累計 3,535,079円(153件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局(鈴木)

小羊学園法人本部 ☎053-584-3337